「対人関係と性」「社会的やりとり」複雑な社会的ニーズを抱えた

知的障害や発達障害の青年・人を

地域で支援する　人垣で支援する

「自分で、自分の人生のGoodWayを決める！」を支援する！

Good Way（グッドウェイ）モデルによ Keep Safe（キープセーフ）

グッドサイド/バッドサイド（よい面/悪い面）

「本人との対話」セッション体験版研修@京都・花ノ木

講師　白梅学園大学 堀江まゆみ　｜　ほかに現地のKeep Safeメンター

11/16（土）13:00〜16:30 後半の部

★対面研修

会場　**花ノ木医療福祉センター 多目的室**
京都府亀岡市大井町小金岐北浦37-1

受講料　**無料・定員80名**

（今回は、花ノ木医療福祉センター情報発信事業の体験版研修のため、無料となります。）

主催　花ノ木医療福祉センター
共催　一般社団法人ACCESS to JUSTICE
問い合わせsoudan_hana@kyoto-hananoki.jp

Keep safeプログラムは「対人関係と性」や性問題行動に課題のある知的障害・発達障害の人のための地域支援アプローチです。
基本は「GoodWayモデルに基づいた人垣支援　https://forms.gle/oyMax6DEJ9xZTf4c7
〜GoodLifeへのGoodwayを選ぶのはあなた〜」

申し込みはこちらから

主催　一般社団法人 ACCESS to JUSTICE（代表理事 堀江まゆみ）/ Pand A-J
事務局 グリーンライツ法律事務所気付
〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-50-1 ウィンド大塚ビル411
電話：03-6403-0819
Mail：小出薫　info@greenrights.jp

申し込み締め切り▶11月2日

共生社会を創る愛の基金 2024年度草の根助成事業

段ボール市民劇団 による

ボビーのストーリー

障害のある人への合理的配慮を考える
参加型演劇ワークショップ

11.16土

15:30～16:30

@花ノ木福祉医療センター

（地域学習会の中で実施します）

“ボビーのストーリー”とは？

障害のある人が、障害を理解されずに苦しみ、普通に過ごせないことは少なくありません。この演習の主人公・ボビーも、地域での暮らしの中で苦しむ一人です。自閉症のあるボビーは、初めて訪れたカフェで、うまく注文ができずにトラブルになってしまいます。

▲注文の列にならぶボビー

▲様々な刺激が重なりパニックに

では、彼のために、私たちは具体的にどのような合理的配慮ができるでしょうか？

このワークショップでは、まちなかでのトラブルの場面でどのような合理的配慮が可能か、参加型演劇の手法を用いて、参加者全員で議論をします。

まず、どのような”トラブル”が起きたのか、その後どうなったのか、実演を観ていただきます。そして、２回目の実演では、参加者のあなたに、「この場面ではこうした方が良い」と思ったところで演技に「ストップ！」をかけていただきます。そして、あなたは舞台の中に入って、ボビーに提供する合理的配慮を実演するのです。身体を使って実演をすることで、議論は格段に深まっていきます。ぜひ一緒に、合理的配慮を考えませんか？

主催　花ノ木医療福祉センター　｜　共催　段ボール市民劇団ネット